

第2回デフリンピック大会運営にかかるアスリート会議議事要旨

- 1 開催日時 令和5年9月26日（火曜日）19時から20時30分まで
- 2 開催場所 青海フロンティアビル2F 会議室
- 3 出席者 設楽明寿委員、竹川寿美子委員、根木慎志委員、
ヨーコ ゼッターランド委員
(オブザーバー：東京都聴覚障害者連盟)

4 会議内容の概要

- (1) 開催基本計画についての意見交換
- (2) その他

【委員の主な意見】

- ・ 過去大会において、聴力検査会場までの移動で2時間かかり、会場ですらに1時間待たされたことがあった。そのようにならないよう、聴力検査体制を整えてほしい。
- ・ ドーピング検査の際に、手話通訳も同伴してもよいか等の手順を確認してほしい。
- ・ 過去大会において、会場等で選手や関係者に招集をかける際に、上手く伝達されていないことがあったため、きこえない方でも認識できるよう、アナウンス方法を工夫してほしい。
- ・ 過去大会のボランティアは、手話ができなくとも堂々と活動していた。本大会でも手話ができる、できないに関わらず、幅広く募ってほしい。また、併せてボランティア研修もしっかりと取り組んでほしい。
- ・ 子どもたちに、「大会に参加した」という実感を持ってほしいため、大会期間中だけでなく、大会前からも参画できる機会を設けてほしい。
- ・ アンバサダーについては、大会を盛り上げられるような方を選ぶべきではないか。
- ・ 近年のスポーツ大会においては、持続可能性に配慮した取組が重要視されているため、大会開催時には持続可能性について、よりしっかりとした取組が求められると思われる。そのため、大会期間中に何らかの取組を行うことによって、大きなムーブメントにつながる可能性があるのではないか。
- ・ 観戦に来られた方も含め、誰もが楽しめる大会にしてほしい。現在のデジタル技術があれば実現可能ではないか。
- ・ 大会を通じて様々な場面で活用するデジタル技術だけでなく、未実装の技術であっても、新たな取組として披露する場があってもよいのではないか。